

学校法人 筑紫海学園

香椎幼稚園
〒813-0003 福岡市東区香住ヶ丘1-2-3
TEL 092-681-3320
つくしみ山荘
〒879-4912 大分県玖珠郡九重町湯坪柳約1585-9
TEL・FAX 09737-9-3408

筑紫海会会報

発行者 福岡女子大学同窓会
筑紫海会
発行所 〒813-0003 福岡市東区香住ヶ丘1-2-3
香椎幼稚園内
TEL・FAX (092) 671-6360
振替口座01780-7-26212
印刷 樋口印刷

徳本鎮学長の「ご」退任にあたって

筑紫海会会長 森永泰子

平成五年三月一日から三期八年間、福岡女子大学学長を務められた徳本鎮先生が任期満了により平成十三年二月末日に退任されました。



先生は学長に就任された平成五年に大学院文学研究科修士課程の設置に関与されたのを始め、平成七年には家政学部の改組による人間環境学部の発足、平成九年には大学院文学研究科博士課程、平成十二年には大学院人間環境学研究所修士課程の設置に尽力され母校の充実・発展に数々の業績をあげられました。

大学開学50年に寄せて

一女性の活躍する21世紀に

福岡女子大学前学長 徳本 鎮

本年は、本学の大学開学からちょうど50年、またその前身である福岡県立女子専門学校の開学から80年近くになります。しかも、本年の入学者は、今世紀最後の入学者でもあります。この大きな節目に当たり、私は、まず、皆さんに、次の二つのことをお話しておきたいと思ひます。

その一つは、本世紀初頭に近い、大正12年に創設された福岡県立女子専門学校は、女子の国立のゼネラルな高等教育研究機関として、わが国最初のものであったということであり、その二は、私学と異なり公立の本学には表立っていわゆる建学の理念というものはありませんが、しかし、

この度、福岡県の公立中学・高校などの現職教員に對して、現職のまま福岡女子大学大学院修士課程に長期研修派遣される制度が実施されることになりました。

本年は、懸案の人間環境学部の大学院の設置を見るまでに至りました。まことに喜ばしい限りであります。加えて本学は来る21世紀でのさらなる発展を期して、アジア通商・情報等の人材養成のための新学部・学科の創設や生涯学習研究センターの充実等を模索するところでもあります。

平成13年度の総会を左記の通り開催いたします。会員相互の交流を深め、同窓の輪を広げたいと、多くの皆様のご参加を心待ちにしております。

平成13年度・総会のご案内
日時 平成13年5月27日(日)
午前11時～午後3時
受付開始 午前10時
会場 ホテル・ステーションプラザ

波紋
二〇〇一年を健康に迎えることができた全ての人々と共に、宇宙と地球に感謝したい昨今です。現代のメディアは世界の天変地異を即座に報道することが出来ます。そして多くの悲惨な事件に誰もが心を痛める日々でもあります。

岡照雄 新学長「ご」就任

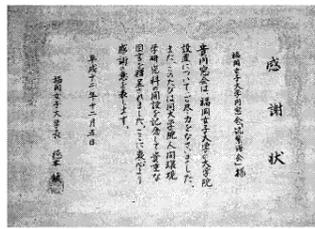
平成十三年三月一日、岡照雄 京都大学名誉教授が第十代学長として就任されました。新学長のもと三月二十三日に卒業式が、四月十日に入学式がとり行われました。

現職教員の大学院入学制度について

この制度は、教員の資質、能力の向上のために一人でも多くの方が、この制度を活用して大学院に進学されるように願っています。なお、この制度の詳細は県の教育庁・福岡女子大学などにお問い合わせ下さい。

人間環境学部大学院開設を祝して図書贈呈

筑紫海会より右記の図書目録
ホワイトセル有機化学(I II III)
環境科学辞典
新食品機能素材の開発
2000食品工業総合名鑑
色彩科学ハンドブック 第2版
等総冊数171冊



後記 本文は、福岡女子大学における私の最後の式辞であります。母校と同窓会筑紫海会とのさらなる発展を心からお祈り致します。

# 紙上 充実の秋期公開講座 再録

## 文化と政治 一両者の関係に見る社会の様相



### 第二次世界大戦期のアメリカ合衆国における文化と政治

西南学院大学講師

佐藤 千登勢

第二次世界大戦はアメリカ人にとって、様々な意味で「良い戦争」でした。それは、ドイツ・イタリアのファシズムと日本の軍国主義の脅威から、世界を救済するための戦争であり、また偉大な指導者、フランクリン・ローズヴェルト大統領の下、愛国心に燃えた国民が一丸となり、自由と民主主義という建国以来の理念を守るために戦った戦争であると考えられています。また1929年の大恐慌以来、アメリカは長期の不況に悩まされてきましたが、軍需産業の急速な発展が、慢性的な失業と社会不安を消し去り、アメリカ人が物質的な繁栄を謳歌できる時代を再びもたらしました。

しかし近年、このようなアメリカ人の「良い戦争」観に基づいた経験を、新しい視点から、検討し直そうとする試みが、アメリカでは盛んになっています。特に軍事・政治面だけでなく、「銃後」の歴史を、より多角的な視点から見ることによって、あの戦争がアメリカ社会にどのような影響をもたらしたのかを、もう一度考えてみようという動きです。なかでも階級、性、人種、民族など、様々な「差異」によって複雑に分断されていたアメリカ社会において、戦時下に国民がどのように国家へ統合されていったのかという問題に、強い関心が寄せられています。

このような試みから、次の2点が明らかになってきています。まず戦時中に、軍隊への参加や、軍需産業への就業によって、多くのいわゆるマイノリティ・グループに属す

る人々の社会的地位が、一時的にはあはれ、これまでにない程上昇したということです。そして第二に、あらゆる国民は「平等に」戦争に協力する義務があると国家が説いた時代にあっても、アメリカ社会には様々な差別が厳然として存在していたということです。例えばアメリカの女性は、戦時期には雇用の機会に恵まれ、高い賃金を得、新しい職種にも進出しました。また婦人部隊という形で、はじめて軍隊に志願することも認められました。しかしその反面、性別役割分業や男女間の賃金格差など、より構造的な性差別に直面し、終戦とともに、多くの女性が家庭へ帰ることを余儀なくされました。公開講座では、その他に黒人、日系移民の経験を取り上げましたが、第二次世界大戦期の総力戦体制は、決して一枚岩的にあらゆる国民を国家に統合したのではなく、ジェンダー・人種・エスニシティなどが複雑に絡み合いながら、それぞれの社会集団が多様な戦争体験をしたのです。



### 現代イギリスにおける中国系マイノリティの文化と政治

福岡女子大学非常勤講師

山本 須美子

現代は、世界的なグローバル化によって、一民族一国家という神話は崩れている。国内に異なった文化的背景をもつ人々が混ざり合い、人の一生も、複数の文化にまたがったものとなっている。人は、複数の文化の中でいかに自己のアイデンティティを形成するのであろうか。ここでは具体的に、現代イギリス社会に生きる中国系マイノリティの若者達の事例を取り上げて検討することを通して、「文化」と「政治」について考えたい。

現在イギリスの大都市を多文化的状況にしている人々は、第二次大戦後の産業復興のために必要となった安価な労働者として、1960年代をピークに英連邦諸国から流入した移民とその子孫である。ここで取り上げる中国系移民の第一世代は、主に1960年代に香港の新界から流入した農夫の出身者が主流で、中国系人口は約20万人である。彼らは、戦後のイギリスの中国料理ブームに乗って、その9割近くが中国料理に関わる飲食業に携わり、他の移民が都市に集住しているのとは対照的に、全国各地に散らばって住んでいる。

このような第一世代を親にもつ若い世代のほとんどは、イギリス生まれイギリス育ちである。彼らは、イギリスの学校に通い、中国語（広東語）の能力は親と会話できる程度であり、第一言語は英語である。週末や放課後は、親の営む飲食業を手伝っている者も多い。筆者による彼ら一人一人へのライフヒストリーについての聞き取り調査を通して、文化の境界における彼らの自己形成の過程を辿った。

その結果、彼らの中には自らを「中国人であり、かつイギリス人である。」と規定し状況によって切り替えている者、自らを「中国人」としてのみ規定する者、白人の上流階級の英語が話せることに基づいて「イギリス人」としてのみ自己を規定する者等、アイデンティティ形成のあり方は多様であることが指摘できた。政府の政策というマクロレベルの「政治」や、日常生活における権力関係の作用（例えば人種差別や偏見）というミクロレベルの「政治」は、「イギリス人であること」は「白人であること」であり、「中国人であること」は「中国料理に関わるエキゾチックな他者である」という規定を押しつけている。イギリスで生まれ育った中国系の若者達は、マクロ・ミクロの「政治」の力が押しつける「中国人であること」「イギリス人であること」の意味を、それぞれが、自らの経験を通して読み替えることを通して、そこに自己を位置づけているのである。このような「政治」の力に対抗するマイノリティ個人の持つ主体的な力が「文化」を産出しつつある。

### 大学院研究の夢

—基礎研究からベンチャーへ—

環境理学科主任

若松 國光



大学院修士課程が発足して、1年が終了しようとしていますが、幸い初年度も、2年目も定員4名を確保できそうで安堵しています。環境理学科の場合、例年、大学院進学者は多いのですが、国立大学大学院の自然科学系分野と競合することが多く、他大学大学院に負けない特徴と魅力のある大学院へ向上させるよう模索しています。そのために、いろいろな分野の専門家の協力を得て「環境」や「バイオテクノロジー」に関しての新たなフィロソフィーを発信できる態勢を構築することや、それらに関連のある研究・開発を行っている研究室や研究所（国・公立や民間）の研究者を招いてのセミナー開催および共同研究など学外とのいろいろな交流を企画しています。現在、個々の先生が民間企業やいくつかの省庁の研究機関と共同研究を行っていますが、大学院での先端研究や技術開発を遂行するには本学に大型の精密機器がないことが弱点ですので、大型機器分析センターを設立して地域社会のベンチャー企業と一緒に研究し、ベンチャービジネス育成の場としたいと願っています。実際にベンチャー志向の小規模経営は大学の基礎的研究データや研究・開発の指導を必要としているケースが結構あります。それには本学のような小規模の大学の方がきめ細かい対応が可能で、本学にはいろいろな分野の専門家がおられますので、成果は十分得られるものと確信しています。

### 大学院開設して一年

—人間環境学部—

### 健康科学系分野の カリキュラム充実

栄養健康科学科主任

馬渡 志郎



平成12年度より福岡女子大学大学院人間環境学研究科が始まりました。栄養健康科学科専攻では、従来の食物科学の他に、健康科学系の分野のカリキュラムを充実させています。高齢化社会、医療保険の赤字、などから健康についても“自己責任”が重くなるのが予想されるなかで、「食」を通じて人の健康の維持、増進に貢献することができる高度な知識と実践力を備えたスペシャリストはますます重要となると考えられます。保健、医療、福祉の専門家が連携して行うチーム医療の一員としての管理栄養士も重要となるでしょう。

栄養健康科学科専攻には初年度5人の応募者の中から選抜試験の結果4人の合格者があり、全て入学しました。平成13年度の選抜試験は平成12年9月に実施され、8人の応募者があり、5人が合格しております。このように、栄養健康科学科専攻の大学院は学生の入学や応募の面でも順調であります。この中は福岡女子大学出身で、すでに社会で活躍中の方（社会人選抜）が、12年度入学者および13年度の合格者に1人ずつおられます。このように、すでに社会人として活躍されている人の入学も歓迎しています。

### 大学院開設とその後

生活環境学科主任

真鍋 征一



衣食住の中で食を除く衣住環境を生活者の立場より、材料面、消費・管理機能面より追及することを本学科の特徴とする。平成12年度での大学院開設に向けて住環境分野での教授陣を増強（大中教授、森田教授）し、現在の我が国でも非常にユニークな教育・研究陣容となった。

平成12年度は定員4名に対して最終的には2名の入学生でスタートした。その内訳は本学卒業生1名、社会人入学生1名であり、両生共に機能材料加工工学研究室に所属している。修士論文研究テーマは環境に優しい後加工法（ナノ加工法）の開発基礎、および中空糸膜カスケード型リサイクル技術開発である。週10時間前後の受講と残りのすべてが修士論文のテーマ研究を実施する。修士一人当たりの研究経費は学士のその3倍強を想定し、学会や講習会等への積極的な参加を義務づけ、そのための財政的補助の予算措置も行い、実際一人当たり2回以上の学会・セミナー等に参加した。

本学科の大学院が社会から一定の評価を得るには5～10年の継続した研究・教育の実績を積み必要がある。その間、学部を充実させ本学の評価を一層高める努力を今後も続けたい。その前提は本学出身の大学院生の増加と設備・教授陣のさらなる充実である。社会人入学制度のより幅広い適用を図り広報活動にも注力すべきであろう。

海外編

なてしこの系譜

女専から女子大へ

二〇〇〇年十一月二日人間国宝第13代今泉右衛門氏の「薄墨草花文花瓶」が...



郡司紀美子さん(大10英)

アメリカ中西部・コーン畑の真ん中で日本伝統文化の種を蒔く

郡司紀美子さん(大10英) 州立イリノイ大学教授・同日本館館長

イ大学の新しい日本館が設立されたことをお知らせしましたところ皆様大変喜んで下さり、日本館に何か記念品をとら、全クラスメイトに呼び掛けて下さいました。卒業四十周年を二年後に控えています今、同級生の皆様の温かいお心に触れ感激しております。尚、ご先輩の今右衛門夫人、泰

子様には格別なご便宜を計って頂いたと伺いました。心から感謝申し上げます。昨年の十月三十日に私は六十歳になりました。十四年前に、ある占いが私の運命を占って曰く、「玉の輿に乗って雲の上に乗っているのが下の子が見えなくなるまであるのだから、お返しをすること。お返しを甘いと運動が盛り上がり実力を出し切っていく。五十八

歳位には盛り上がる。それまで待てるだけの種を蒔きなさい」と。これを聞きましては、まだ四十四歳で、「五十八歳までには自分なりの道がある」と思っていました。でもあつという間に月日が経ち五十八歳が過ぎました。そして、昨年の西暦二〇〇〇年、「庚辰」で干支中最高に縁起の良い年で、しかも二十世紀最後の年に還暦を迎え、「本卦



平成10年10月28日 京都・ガーデンパレスホテルで

花を蒔くことが出来るようになる。このように学生化芸術を勉強しなさいとしました。修士号取得後、助手から講師、助教授、そして準教授と長い期間かかりました。昇格し今日に至っています。現在、新日本館の館長を務めるかたわら、「活け花を通しての日本のデザイン美」と「茶道と禅美」のコースを教えています。芸術学部で教える始めて二十一年、女性教授の中ではもう一番

古い仲間に入っています。「よくも飽きずに」と思っている人もあるかと思えます。でもこうして毎年続けて教えている理由の一つは、学期の始めにお茶のクラスでは正座が出来なかつた学生が学期の終わりに近くになると正座も出来るようになる。お花のクラスでは「不均衡の美」が納得出来なかつた学生が空間をうまく活かして不均衡ではあるがバランスのとれたお

追悼 村井典男先生

薄 幸子(大8食)



この度、元家政学教授村井典男先生のご逝去の報に接し、深い悲しみで一杯でございます。先生は昭和二十九年より五十二年まで女子大で教鞭をとられ、大学発展のために寄与され、平成元年には叙勲の栄にも

込まれたものでした。先生は抜群の記憶力を持ち、専門に限らず広い分野に渡って博学でいらつしやいました。また、大変な愛妻家でありご家族をとて大切にしておられ、私どもにとつて先生ご夫妻は理想の夫婦像でした。退官後は湯布院に移られ長年の夢であった大自然の中で悠々自適の生活を送っておられました。十年程前最愛の奥様に先立たれ悲嘆にくれておられましたが、つくば市のご長女冥福をお祈り申し上げます。

達ましたものでした。先生は抜群の記憶力を持ち、専門に限らず広い分野に渡って博学でいらつしやいました。また、大変な愛妻家でありご家族をとて大切にしておられ、私どもにとつて先生ご夫妻は理想の夫婦像でした。退官後は湯布院に移られ長年の夢であった大自然の中で悠々自適の生活を送っておられました。十年程前最愛の奥様に先立たれ悲嘆にくれておられましたが、つくば市のご長女冥福をお祈り申し上げます。



山下 厚子(大12国)

追悼 今村誉子様 東京支部長

昨年十二月十九日、今村支部長ご逝去の知らせは俄かには信じ難いものでした。ついでに、ご主人と一緒にご逝去されたことに、心から哀悼の意を表します。享年七十三歳。六十歳で校長を定年退職後、文部省の依頼で、国際婦人教育振興会の海外派遣委員会の仕事をなさり、その後一九九

母校は大きな幹 学窓のえにし、五十年に思う

瓜生 桂子(専26生)

私たちは昭和二六年卒、生活科の「なでしこ26」で卒業以来何年かと、波は厳しく、逆らえない。次はいつ?どなたのお世話で?と話が出るが、ハテ、サテ、わからないところがこれまた楽しみ。考えてみると学窓のえにしは深い。たまたまクラスメイトだったが故に、長年何かにつけ助け合い、家庭を持って幾組も夫婦づきあいが今日まで続き、頼り頼り関係である。友とはほんとうに良きかな。それに最近、遠い日の先生方のお言葉が、



平成10年10月28日 京都・ガーデンパレスホテルで

海風吹く檣が原、おなかペコペコだったのに、遊びや学への旺盛な好奇心、応えてくださった先生方の学識に啓発された。「青い山脈」の歌声が駆け抜けていた頃へ。翌日、めいめいコースへ別れて、京都や奈良の探訪をゆくり楽しんだ。次の集いは、筑紫海会総会の当番学年だった平成一年五月二日、福岡、博多サンヒルズホテルで総会終了の安堵も手伝って一六人の友だちと一夜を懐かしんだ。それぞれの場所から超えてきたことが、話に

